



# 吹屋 町丸ごとテーマパークマップ

黄金山城跡



凡例	
	ヒルクライム 競技コース
	歴史探訪サイクリングコース
	伝統的建造物
	高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区

## 高梁市吹屋伝統的建造物群保存地区

「鉾山町」として、昭和52年に国の重要伝統的建造物群保存地区として選定されました。吹屋が最も栄えた江戸時代末期から明治時代の建物がほとんどで、ベンガラで得た莫大な富により、百年を越えて風雪に耐える堅牢な建物を作らせています。備後国東城からこの町並みを通り抜けて成羽へと続き備中・備後産鉄を運搬する道として機能した吹屋往来は、吹屋産の粗銅とベンガラの輸送だけでなく、備中北部でもにぎわった往来でした。

### 明治頃の町家

- 《千枚》 米屋、油屋、米問屋、居酒屋、住宅など
- 《中町》 ベンガラ窯元、鉄問屋、薬屋、金物屋、酒造、醤油造、油屋、旅館、菓子屋、住宅など
- 《下町》 火薬屋、旅館、住宅など
- 《下谷》 ベンガラ窯元、木材業、郵便局、住宅など



## 旧片山家住宅(国指定重要文化財)

本片山(胡屋(えびすや))と呼ばれ、宝暦9年(1759)の創業以来、九代続いたベンガラの製造・販売の老舗でした。石州瓦で葺かれた2階建(一部3階)の主屋は、江戸時代後期に建てられ、明治時代には座敷が増築されています。外観は、腰高格子を飾る袖壁や繊細な出格子を配し、2階をなまこ壁で仕上げるなど、吹屋の町並みの中でもひとときを凝らした造りとなっています。平成18年12月には、ベンガラ屋としての店構えを残す主屋とともにベンガラ製造に関わる付属屋が建ち並ぶ「近世ベンガラ商家の典型」と高く評価され、国の重要文化財に指定されました。

## 旧吹屋小学校校舎(県指定重要文化財)

明治33年(1900)に東校舎と西校舎が建築され、明治42年(1909)に本館が建築されました。本館は明治時代中期の擬洋風建築の典型で、伝統建築の形態に則りつつ、細部に洋風の意匠が挿入された折衷式の木造建築で、県の重要文化財に指定されています。大正7年(1918)の最盛期には全校で児童数369人を数え、多くの卒業生を送り出しています。平成24年3月に、児童数の減少により閉校しました。



ヒルクライムチャレンジシリーズ2012高梁吹屋ふるさと村大会の開催期間中2012年10月6日(土)～7日(日)の2日間は、このマップの裏面のチケット提示により、下記の施設の入場料が割引となります。

- ①旧片山家住宅&郷土館 ②ベンガラ館 ③笹畝坑道 ④広兼邸
- (①～④の全てを見る場合、周遊券がお得です。周遊券も割引となります。)

2012.10月

《発行》ヒルクライムチャレンジシリーズ2012高梁吹屋ふるさと村大会実行委員会 《マップに関するお問い合わせ》高梁市 総務部 歴史まちづくり課 0866-21-0257



# ふきや 吹屋 町丸ごとテーマパークマップ



## 吹屋 銅山・ベンガラの歴史

吹屋は標高約500mの山間部にあり、銅山によって古くから繁栄してきました。銅山としての起源は、平安時代初期の説と南北朝時代末期の説があり、戦国時代には銅山を巡る攻防がありました。

坑道が深くなるたび湧き水に悩まされながらも、泉屋(住友の祖)や地元の大塚家、三菱など、銅山の請負人を度々変えながらも発展してきました。

周辺には、明治20年(1887)代から栄えた吉岡銅山を中心に、知られているだけでも18の鉱山があり、大正年末には坑道の総延長73.6km、地下368mまで掘られていることがわかっています。銅の採掘は昭和47年まで続けられました。

ベンガラ生産の始まりは、宝永4年(1707)頃といわれています。寛政10年(1798)頃には、ベンガラ製造の焼窯は10箇所、ベンガラ稼人は5軒ありました。

吹屋のベンガラは良質で、陶磁器、漆器、家屋や船舶の塗料などとして全国に出荷され、日本で有数のベンガラ生産地となりました。銅の鉱石から硫化鉄鉱が多く産出し、周辺地域で中間製品のローハが生産されたことも深く関係しています。ベンガラ生産は昭和49年まで続けられました。

## ベンガラ館(近代化産業遺産)

明治頃のベンガラ工場が当時の姿に復元されたものです。ベンガラ製造工程などを知ることができます。

## 菅畝坑道(近代化産業遺産)

江戸時代から大正時代まで採掘されていた坑道を復元して公開しています。江戸時代には、ここから馬の背に鉱石を載せ成羽で高瀬舟に積み替え、玉島からは海船を利用して大阪の銅役所へ運ばれていました。明治以後は三菱金属株式会社の経営になり、本坑道(坂本)と繋がっていました。

## 広兼邸(市指定重要文化財)

中野村大野呂の庄屋をつとめ、享和、文化年間に小泉銅山経営とローハ(硫酸鉄)の製造によって財を成しました。文化7年(1810)に建築され、城と見まがうばかりの楼門と石垣を構えた広大な屋敷です。向かいには明治初期に建てられた広兼家の個人神社があります。横溝正史原作の映画「八つ墓村」のロケ地としても知られています。

### ヒルクライム限定割引券 旧片山家住宅&郷土館

大人400円→360円  
小中生200円→180円

有効期限:2012年10月6、7日  
本券1枚につき1名様有効です。

### ヒルクライム限定割引券 ベンガラ館

大人200円→180円  
小中生100円→90円

有効期限:2012年10月6、7日  
本券1枚につき1名様有効です。

### ヒルクライム限定割引券 菅畝坑道

大人300円→270円  
小中生150円→130円

有効期限:2012年10月6、7日  
本券1枚につき1名様有効です。

### ヒルクライム限定割引券 広兼邸

大人300円→280円  
小中生150円→140円

有効期限:2012年10月6、7日  
本券1枚につき1名様有効です。

### ヒルクライム限定割引券 旧片山家住宅・郷土館 ベンガラ館 菅畝坑道 広兼邸

周遊券

大人850円→750円  
小中生400円→350円

有効期限:2012年10月6、7日  
本券1枚につき1名様有効です。